



ぜひご家庭でもお読み下さい



応援したい市民団体に一票を!

「ゆめ・まち基金 市民団体助成プログラム」
選考アンケートにぜひご回答ください(1月下旬送付)

皆さまの募金を積み立て、会社からの同額寄付と合わせて阪急阪神沿線の市民団体を助成する「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 市民団体助成プログラム」。6回目となる今年度の公募には、99団体からの申請をいただきました。ゆめ・まち基金にご参加の方には、1月下旬に選考アンケートをお送りします。アンケートで高評価の市民団体は、本選考で加点しますので、ぜひご回答ください!

なお、本選考における従業員代表は次の方々です。

阪急電鉄 都市交通事業本部 流通統括部/堀内英明さん
阪神電気鉄道 建設・環境統括部/秋山佳輝さん
阪急阪神ホテルズ 事業統括本部 総務人事部/寺田伸さん

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」への参加は随時、受付中です。
皆さまのご参加お待ちしております!

※詳しくは、下記ホームページの「従業員向けページ」をご覧ください。

助成プログラム審査の流れ

- 12月5日(金)
事務局による書類選考
- 1月下旬
基金参加者アンケート送付
- 2月4日(水)
基金参加者アンケート締切
- 2月17日(火)・18日(水)
会社・従業員代表による本選考
- 3月末
助成実施



今年も「書き損じハガキ寄付プログラム」実施中!

ハガキ回収期間は1月30日(金)まで

誰でも気軽に参加できるボランティア「書き損じハガキ寄付プログラム」。今年も皆さまからお預かりしたハガキを切手に交換し、あしなが育英会に寄付します。ご家庭の書き損じハガキを、ぜひお寄せください!

- 主な回収場所: ①阪急電鉄本社ビル 2F従業員食堂など
②阪神電気鉄道本社ビル 3・4・6・7Fエレベーター横通路など
③阪急交通社 各拠点(新橋・青葉台・大阪・名古屋・福岡)事務所
④阪急阪神エクスプレス 各施設
⑤阪急阪神ホテルズ 7ホテル(第一ホテル東京、大阪新阪急ホテルなど) 他グループ各社

※個人情報必ず塗りつぶして入れてください。※切手への交換手数料は事務局が負担します。※ポイント申請とあわせて事務局に社内便や郵便などでお送りいただいても結構です。

寄付先: 「あしなが育英会(東日本大震災遺児支援募金)」

病気や災害、自死(自殺)で親を亡くした子ども達に奨学金の貸与と心のケアを行う民間団体。その中でも、東日本大震災で親を亡くした子ども達への支援に寄付します。

ポイント申請: 書き損じハガキの寄付活動に対して社会貢献ポイント(5ポイント)付与。下記URLの「Topics」より申請書をダウンロードし、2月末日までに、ご申請ください。なお、期間中、何回ご寄付いただいても、申請は1回限り有効です。 ※上記以外の回収場所など、詳しくは阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクトHPの従業員向けページ(<http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/group.html>)内Topics欄をご確認ください。

voice



ボランティアといっても何から始めていいかわからない、日頃あまり時間がとれない...そんな方も無理なく参加できるのが書き損じプログラム。社会貢献ポイントも貯まりますよ。(阪急交通社 CSR・コンプライアンス推進部 清水一成さん)

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)

shakai@hankyu-hanshin.co.jp

TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174

URL: <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

※グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は8984です。



夢を力に変える人 No.4

「日本一の里山」を 未来へ継ぐ守り人たち

川西里山クラブ

●阪急阪神
未来のゆめ・まち基金
助成対象団体レポート

●ソーシャル・ヒーブル
インタビュー
※志茂田 景樹さん

●グループ従業員の
ボランティア活動レポート

🎁 ソーシャルグッズ
プレゼント 詳しくは裏表紙へ

あしたを変える
ソーシャル・グッズ

チームともす東北
オフィシャルキャンドル

キャンドルの明かりは、
復興への道を照らす希望の灯し火



毎月11日に、サポーター
同士が繋がるキャンドル
イベントを開催

震災を語り継ぎ、未来を語り合う「灯し火」になれる事業を広めたい...そんな思いから結成された「チームともす東北」が制作・販売するキャンドルです。津波被害による塩害地を菜の花栽培によって再生させる「菜の花プロジェクト」に売上の10%が寄付されます。このキャンドルの火が、真の復興に向けた光となることを願って...

問合せ/チームともす東北実行委員会
☎022-263-2681
URL:<http://tomoru311.com/>
価格/1,000円(税込)

🎁 5名様にプレゼント 🎁

ご希望の方は下記事務局までメールでお申し込みください。メール件名を「キャンドルプレゼント希望」とし、本文に「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切:2015年1月30日(金)
●プレゼントの発送をもって、当選者の発表とします。

編集後記

阪神淡路大震災のとき、私は成人式を終えたばかりでした。あれから20年。1月17日のことも3月11日のことも、語り継ぎ支え合う、志茂田景樹さんのような大人でありたいと思いました。(新美佳代)



書き損じハガキの寄付は、気軽に簡単に取り組める社会貢献活動です。BOX設置場所は年々増加し、過去5回の寄付累計は50万円超!今年もあなたの寄付をお待ちしています!(中野英里佳)



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは「未来にわたり住みたいまち」づくりを目指し、「環境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の社会貢献推進、市民団体の支援、従業員のボランティア活動の応援の3つに取り組む当社グループの社会貢献活動です。

夢を力に 変える人

No.4



川西里山クラブ

『日本一の里山』を 未来へ継ぐ守り人たち

川西市黒川地区は2008年に「にほんの里100選」に選ばれ、日本一の里山とも言われている。この地区にある妙見山は、「妙見の森」を有し、天然記念物のエドヒガン桜をはじめ、豊かな魅力あふれる里山。この里山を縁の下でしっかりと守っている森林整備のボランティア団体がある。

され、生き続ける。だからこそ川西里山クラブは、森林整備を行い、里山を未来に残そうとしているのだ。

地道な活動の中で2008年12月、ドラマチックな出来事が起こった。絶滅危惧種であるエドヒガン桜の群落をメンバーが発見したのである。「冬はケールが運休になり、私達は徒歩で山を登っていました。背丈を越す笹が生い茂る斜面をかき分けて歩いていくと、目の前にエドヒガン桜が現れたのです。」現場に立ち会った辻本さんは、その感動を忘れないという。だが、彼らのドラマは、ここで終わったわけではない。せっかくな見つけた宝物を地域住民にも見てほしいと、周囲の笹を全て刈り込み、公園のように整備。また花から種を採って株を育成し、市民参加の植樹を開催したり、シンボルとなる大木の名前募集なども行った。熱心な広報活動の成果が、エドヒガン桜は川西市の天然記念物に認定され、テレビや新聞でもニュースが取り上げられた。「私達の活動を知って皆さんが里山に関心を持ってくだされば本望です。」

里 山を守ると同時に、里山の魅力を人々に伝えたい。だから川西里山クラブの活動は多岐にわたる。月に2回、山に入って整備活動をするほか、小学生の「里山体験学習」や、地域の人々が自然と親しめる「黒川里山まつり」の開催に協力するなど、イベントにも力を入れている。「彼らの積極性、チャレンジ精神には本当に驚かされます」と絶賛するのは、妙見の森



①一番大きなエドヒガン桜の愛称を全国から募集した結果「出会いの妙桜(たえざくら)」に決定。②笹が生い茂っていた斜面を整備し、市民参加で植樹したエドヒガン桜が大きく育ってきた。③兵庫県森林林業技術センターから指導を受けてホンシメジの栽培にもチャレンジ。「里山整備の楽しみを積極的に伝えていきたいのです」。④⑤里山を整備する前(①)と後(⑤)を比較してほしい。影響として暗い山に、明るく陽が差すようになった。⑥会長の辻本哲さん。



⑦一段一段、山道の遊歩道を作る。気の遠くなるような地道な作業だ。⑧能勢電鉄が所有する「団栗小舎(どんぐりごや)」が活動拠点。⑨林業遺産に登録された台場クヌギ。炭の材料にするため伐採を繰り返すと、このようなコブ状になる。⑩伐採したコナラの木を利用してシイタケを栽培したり、薪を業者に販売している。⑪コナラの木を伐採中。コナラを切ったクヌギを植えることで「ナラ枯れ」を媒介する虫の増殖を防ぐ。

ゆめ・まち基金に
ありがとうございます!!!

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の助成金は、遊歩道の階段づくりや、植栽したクヌギ林の鹿防衛ネット購入などに。「資金面で余裕がなく、なかなかできなかったことが実施できました」。

川西里山クラブ

里山整備のボランティアに興味ある会員を常時募集中。参加ご希望の方は下記の川西市役所・市民生活部を通して辻本会長まで入会申込書をご提出ください。会費は年間1,000円です。

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12番1号
川西市役所 市民生活部 生活活性化室 産業振興課
TEL: 072-740-1164
E-mail: ppkj90364@maia.eonet.ne.jp (辻本)
URL: http://str1685.exblog.jp/

を所有・管理する能勢電鉄鉄道事業部の部長・信田さん。「エドヒガン桜の例だけではありません。クラブの方々が保全を心がけてくださった。台場クヌギ林が2013年度の日本森林学会の林業遺産に認定されました。妙見の森の価値を高めてくださる存在であり、顧客サービスにも貢献いただいている。感謝の一言ですね。」

それにしても山道を歩き、急斜面で樹木を伐採したり、下草を刈ったり、遊歩道を作ったりと、森林整備はハードな作業だ。メンバーの中心はリタイア世代だが、その働きぶりはエネルギーのひと言。なぜ、そんなに元気なのですか?と尋ねれば「山に入って自然とふれ合うことが楽しいからね」と誰もが笑う。マイナスイオンの空気に癒やされているからだろうか、皆さん、とても、いい顔をしている。

薪 や炭、山菜や木の実など、里山は暮らしに恵みをもたらす山である。人々がなりわいのために昔から草刈りや伐採を定期的に行うことで、動植物の生態系が守られてきた。しかし近年、里山は放置されて常緑樹が生い茂り、地面に陽が届かず他の植物や次世代の木が育たない...という状況に陥っている。これは、それらを食べる生物にも影響する問題だ。里山は人の手が入ってこそバランスが維持

チ エーンソーの音が止み「気をつけてー」という声が響く。一瞬の後、メキメキと幹を鳴らしながら10m以上あるコナラの木が斜面に倒れ込む。目の前で見ると、その迫力に圧倒される樹木の伐採に取り組んでいるのは、森林整備のボランティア団体「川西里山クラブ」である。彼らが活動するのは兵庫県の奥座敷、川西市黒川地区。この地区にある妙見山中腹の妙見の森をフィールドに里山整備ボランティアを続けている。

「クラブのはじまりは2005年。川西市が開催した森林ボランティア講座の修了生が集まって設立しました。川西市内で整備や管理が必要な活動地を探している時に、市の紹介で能勢電鉄さんの所有する妙見の森のことを知り、協定を結ばせていただきました」と語るのは、会長の辻本哲さん。なるほど、森林整備のスキルを十分に学んだメンバーが揃っているから、ダイナミックな伐採をやり遂げようのか...と納得である。

愛するあまり
作っちゃいました。



series 47 行く人も迎える人も笑顔になる、地元愛あふれるガイドツアー。

大阪と京都の中間に位置する島本町は、風光明媚な自然に恵まれ、由緒ある文化財も多い。それなのに観光客が素通りしてしまう状況にあった。せっかくの魅力を多くの人に知ってほしい…そこで郷土を愛する人々が立ち上がった。ふるさと島本案内ボランティアの会は、町の魅力発信のため2004年に設立された団体である。活動の中心は無料観光ガイド。毎週末、町内の見どころを巡るツアーを行っており、年間で2,000人以上が参加している。案内人を務めるのは、子育てを終えた主婦やシニア層。彼らは皆、町の良さについて学ぶ楽しさと、それを観光客に伝える喜びを実感しているという。この会は、島本町のファンだけでなく、住民の生きがいも創出しているのだ。



認知度が上がるにつれ、小中学校の校外学習、福祉サロンなどからもガイドの依頼が来るように。

ふるさと島本案内ボランティアの会

TEL : 075-962-5417(島本町社会福祉協議会内)



その日、世界がひとつになった。

series 46 自閉症という障がいに理解を… 蒼い光はメッセージ。

自閉症が数多の誤解にさらされている障がいだということをご存知だろうか。例えば先天的な脳の機能障がいなのに、心の病と思われる。障がいによりコミュニケーションや想像力に問題を抱えているのに、一見知能の遅れがないため“親のしつけが悪い”と言われる。自閉症者とその家族は、障がいだけでなく世間の無理解にも苦しんでいるのだ。

NPO法人あっとオーティズムは、自閉症への理解促進などを目的として2011年に設立された。「自閉症」という日本語から生じる誤解を解いていきたいと、あえて団体名は英語で自閉症を表す「オーティズム」をつけた。活動の柱は2つあり、ひとつは毎年4月2日の「世界自閉症啓発デー」に行われるイベント「ライト・アップ・ブルー」の日本開催。世界136か国が参加する自閉症啓発キャンペーンで、各国のランドマークや建物をブルーにライトアップするもの。日本でも開催されているのだが、始まりはひとりの母親だった。自閉症のこどもを持つ彼女は、海外の啓発ライトアップを見て日本でもできないかと考え、仲間の母親達

と候補地を1ヵ所ずつ訪ねて協力を呼びかけていったのだ。啓発の輪は少しずつ広がり、大阪城、通天閣、東京タワー、明石海峡大橋など、昨春は日本でも100ヵ所以上が蒼い光に包まれた。

活動におけるもうひとつの柱は、子育てに不安を持つ保護者を対象とした無料相談室や母親の学習会開催。一般市民へ広く訴えるニュース性のあるイベントと、当事者への地道なサポートという、両面からの取り組みだ。

自閉症のこども達は、行動や感情表現が特徴的である。それを個性として理解し、見守ることで、彼らは社会に適応して生きることができる。個性を尊重する欧米に比べて、自閉症への社会理解が20年も遅れているという日本。真の先進国になる日まで、あっとオーティズムは光のメッセージを発信し続ける。



「ライト・アップ・ブルー」以外にも、啓発ウォーク、クリスマス会、バザーなどの啓発・交流イベントを行っている。

NPO法人 あっとオーティズム

ボランティアとして活動を支える「賛助会員」を募集中。またオリジナルグッズを購入することで活動資金をサポートすることができます。興味のある方はウェブサイトをご覧ください。お電話でもお問合せください。

TEL : 090-2701-8660(佐伯)

E-mail : world.happy.mamas@gmail.com URL : http://happy-autism.com/

待ってるける。



series 48 郷土・西宮の自然を守り続けて40年。

住宅都市というイメージの強い西宮市。しかし意外にも山、川、海などの自然が豊かに残り、植物や生き物をたくさん見ることができる。例えば貴重な海浜植物、渡り鳥、カエルにトンボにホタル…。西宮自然保護協会は1974年の設立以来、郷土の自然を守る活動を続けてきた環境団体である。動物、植物、昆虫などの専門家が揃っているため、行政の委託で環境調査をしたり、講演会を行ったり。そして近年、特に重視しているのが親子を対象に開催する自然観察会。「海や川は危ないから入らない、生き物は汚いから触らない」と、どんどんアウトドアと疎遠になっている現代のこども達に、再び自然と仲良くなる機会を提供している。

自然観察会や講演会など多彩なイベントが月に1~2回、開催される。その多くは会員向けだが、一般参加行事もある。



西宮自然保護協会

E-mail : sxmm27582@iris.eonet.ne.jp

URL : http://nisinomiyasizen.jimdo.com

Social People Interview

作家 志茂田 景樹さん



日本全国どこでも、読み聞かせに飛んでいく志茂田さん。ホームページで講演スケジュールをチェックできる。「志茂田景樹のWEB絵本読み聞かせ劇場」
http://www.kageki.jp/

絵本の読み聞かせを通して 命の大切さを伝えたい

1998年に「よい子に読み聞かせ隊」を結成し、命の大切さや生きることの素晴らしさを伝えている志茂田景樹さん。読み聞かせが持つ力や、活動の原動力について伺いました。

読み聞かせが持つ力に 大きな衝撃

会場に僕が現れると、子ども達がファッションを見てワーツと沸いてくれるんです。それがファンタジーの世界への導入。フルートやピアノの伴奏とともに、絵本の読み聞かせの始まり、始まりです。

そもそも僕のサイン会には親子連れの方が多く、子ども達を喜ばせたいと思ったのが活動のきっかけ。その時に読んだのは「赤い靴」と「赤い蠟燭」で、子どもも大人も一気に物語の世界に入り込んできました。そして、読み終えた時に自分自身の心が洗われたような感じがしたんです。帰り際、一人の女性から「実は嫌なことがあって落ち込んでいましたが、おかげで元気が出ました」と声をかけられ、読み聞かせが持つ力に衝撃を受けました。それですと続けていこうと心に決めました。

傷ついた心を 少しでも癒したい

被災地でも読み聞かせを行っています。阪神淡路大震災から4年が過ぎた頃「PTSD※に苦しむ子達を癒して欲しい」と依頼を受けたのが最初でした。その後、新潟県中越地震や福岡県西方沖地震、さらに東日本大震災の被災地には年3〜4回のペースで慰問しています。本のセレクトは普段と同じで、楽しい話ばかりではありません。動物の親子が生き別れる場面ではあちこちですり泣きが聞こえます。辛い記憶と重ならないか、最初は心配でした。でも終わると、子ども達は僕やメンバーにくっついて離れない。読み聞かせは大成功でした。もちろん、読み聞かせで全てが解決するわけはありませんが、「命は何よりも大事」「生きることが素晴らしい」というメッセージを伝え続けたいと思っています。

好きなことを 社会貢献につなげて

社会貢献といっても何から始めたらいいかわからないという方は、自分の好きなことをボランティア活動につなげてみてはいかがでしょうか。今は難しくても、退職後に絵画でも音楽でも会社員時代にはできなかった趣味を活かしてみるのもいい。新しい自分を見出せるかもしれない。私も、僕自身、読み聞かせの相手はいつも違うから、感動の共有は常に新鮮。年齢とともに錆びつきがちな感性のリフレッシュにもなっているかな、なんて思っています。

※PTSD(心的外傷後ストレス障害)強いショック体験が心の傷となり、時間が経つてもその記憶が思い出されて恐怖を感じ続ける。不安緊張、めまい、頭痛、不眠などの症状が続く場合もある。

けることで、少しでも子どもの心を癒したいと思って続けています。



Profile 1940年生まれ。中央大学法学部卒業。1976年に作家デビューし、1980年「黄色い牙」で直木賞受賞。小説・絵本・児童書作家でタレントとしても活躍。1998年に「よい子に読み聞かせ隊」を結成し、公演数は1750回以上。近年はTwitterの人生相談が若者に人気で、フォロワーは25万人を超える。座右の銘は「今が出发点」。

21 尼崎ボーイズ/尼崎市
野球を通じて「選手の意欲」「礼儀・マナー」を育む少年野球チーム。地域の清掃活動にも参加します。

●阪神電気鉄道 玉沖好広さん

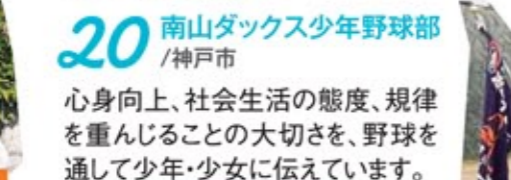
予算が厳しい中、新しい道具で安全に練習できて嬉しく思います。



20 南山ダックス少年野球部/神戸市
心身向上、社会生活の態度、規律を重んじることの大切さを、野球を通して少年・少女に伝えています。

●阪急電鉄 天場郁人さん

消耗品である練習用ボールを新調でき、子ども達は大喜びでした。



19 福井サンボーイスポーツ少年団/茨木市
健全な心と体を養い、理想的な人間形成の基礎づくりを目的に、活動する少年野球チームです。

●阪急電鉄 柏木隆弘さん



支援金によって、練習成果を發揮できる試合参加数を維持することが可能になりました。

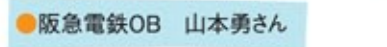
グループ従業員のボランティア活動レポート vol.4

従業員・OBの皆さまのボランティア活動団体に3万円を支援する「ゆめ・まち ええこと応援団」。2013年度の支援先と、参加従業員・OBの方のコメントをご紹介します。

22 神戸学園都市高塚山を愛する会/神戸市
「百歳になっても元気に生きるために」をモットーに、高塚山の保全とハイキング道の整備を行っています。

●阪急電鉄OB 山本勇さん

支援金により道具や消耗品を購入でき、活動が活発化しました。



23 ウッディボーイズウエスト/三田市
選手、保護者、指導者はOBも含めて地域との関わりを大切にしています。OBがコーチとして活躍中。

●阪急電鉄 大林大治さん

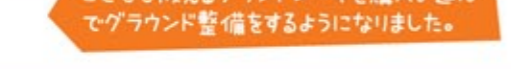
老朽化したカブスカウト隊の隊旗を購入。団員からも好評です。



24 ボーイスカウト日本連盟堺第4団/堺市
ボーイスカウト教育を通じて、青少年を育成します。夏休みなどには長期キャンプも開催します。

●アイテック阪急阪神 井阪宣之さん

子どもが使えるグラウンドレーキを購入。連日グラウンド整備をするようになりました。



市民団体活動参加のススメ

File 09 進路決定サポートの社会人ボランティア募集 通信制高校で高校生と寄り添うオトナ、求ム。

NPO法人D×P(ディーピー)では、不登校や中退経験を持つ生徒が多く集まる通信制高校で、キャリア教育プログラムを提供しています。社会人ボランティア「コンポーザー」が高校生と対話し、彼らの進路決定をサポートする授業です。NPO法人D×Pにコンポーザーとして登録しているのは、さまざまな職業や経歴を持つ約70名で「当初は話もできなかった高校生が次第に笑顔を見せてくれて、純粋に嬉しかった」「高校生と話すことで、自分の仕事や生き方を振り返ることができた」などの声が聞かれます。親でもない、先生でもない「オトナ」だからできることがある…あなたもコンポーザーになりませんか？

コンポーザーになるには

- ①説明会
- ②研修
- ③プログラム参加

まずはお気軽に説明会へ。研修会で高校生との関わり方を学びます。コンポーザーとしてプログラムに参加。

活動場所: 主に大阪、京都市内の通信制高校
活動日時: 主に土曜日に授業や研修会があります。

お問合せ先: NPO法人D×P(ディーピー) TEL: 06-6935-6111 (受付時間は10:00~17:00)
Mail: dp.composer@dreampossibility.com(担当:川上) URL: http://www.dreampossibility.com/

